

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 くきのうみ 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

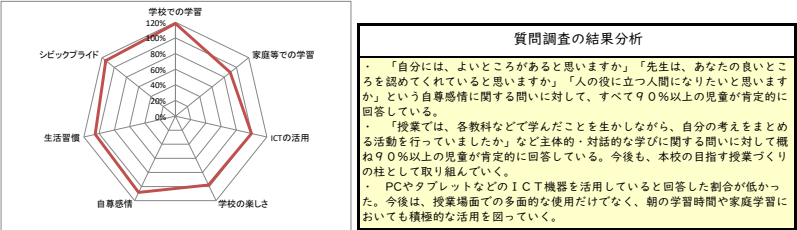
- (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.6	60
全国	9.5	68	10.1	63

- (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	・ 言葉の特徴や使い方にに関する問題への正答率が高い。 ・ 無回答率は、低い。 ・ 文章を読み取って内容を正しく捉えたり、想像したりする問題に課題が見られる。	全国平均正答率との比較
			上回っている
	よくできた問題	・ 目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討するなど「話すこと・聞くこと」に関する問題 ・ 漢字の使い方や主語・述語の関係など「言葉の特徴や使い方」に関する問題	
算数	全体的な傾向や特徴など	・ 計算の仕方を考えるなどの知識・技能に関する問題への正答率が高い。 ・ 無回答率は、低い。 ・ 図形に関する問題、グラフの読み取りに関する問題などに課題がある。	全国平均正答率との比較
			下回っている
	よくできた問題	・ 基礎的・基本的な四則計算をしたり、表を基に分類整理したりする問題	
	努力が必要な問題	・ 図形の意味や性質を理解したり、円グラフから割合を読み取ったりする問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科に関する取組

・ 日々の授業での積み重ねを最も大切にしながら、専科・持ち合い授業のよさを生かしたり、「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり実現に向けた教員研修を推進する。

・ 各教科においてタブレットを有効に活用する場面を増やしていく。

- ② 家庭生活習慣等に関する取組

・ 学校統合から3年間、異学年交流などの児童会活動や学校行事の充実に力を入れてきた。今後も、2学期制をうまく活用し、友達とよさを認め合うとともに自尊感情を高める取組を計画的に実施していく。

・ 児童の頑張りと課題など、日頃の姿を保護者・地域と共有し、連携を深める。